

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：角・澤村]

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

令和2年度 病害虫発生予察情報 注意報第3号

令和2年7月17日

島 根 県

トビイロウンカ成幼虫の生息密度が県内で高まっています。今後、本種による被害の恐れがあるため、注意報を発表します。現地では発生状況の把握に努め、適切な防除対策を講じてください。

記

- 1 病害虫名 水稲 トビイロウンカ
- 2 発生地域 県内全域
- 3 発生時期 7月下旬以降
- 4 発生量 多い

5 注意報発表の根拠

- 1) 7月13～16日の巡回調査（粘着板による払い落とし）において、発生ほ場率は32.6%（平年2.4%）と高く、捕獲虫数は7.0頭/50株（平年0.3頭）と過去10年間で最も多い。（図1）
- 2) 一部のほ場では短翅型成虫の発生が認められる。
- 3) 現時点で飛来は6月上旬～7月中旬にかけて複数回あったと考えられる。
- 4) 今後も梅雨明けまで飛来する可能性がある。
- 5) 1か月予報（7月16日広島地方気象台発表）によると、向こう1か月の気象は本種の発生を抑制する要因とはならない。

6 防除対策及び防除上の注意事項

- 1) 現在、ほ場で確認される成虫は飛来世代と第1世代成虫と推定され、次世代幼虫の発生は7月下旬～8月中旬と考えられる。（図3）
- 2) 8月上旬～8月中旬に成幼虫が1株当たり1頭以上であれば防除が必要である。本種は同一ほ場内でも生息密度に偏りが見られることに留意し、発生状況の把握に努める。
- 3) 散布に当たってはトビイロウンカの生息部位である株元に、薬剤が十分到達するように努める。散布後は防除効果の確認を行う。
- 4) 薬剤の使用に当たっては、農作物病害虫雑草防除指針の注意事項を遵守する。
- 5) 最新の農薬登録情報は、独立行政法人農林水産消費安全技術センターHP（<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vt11m000.html>）で確認できる。

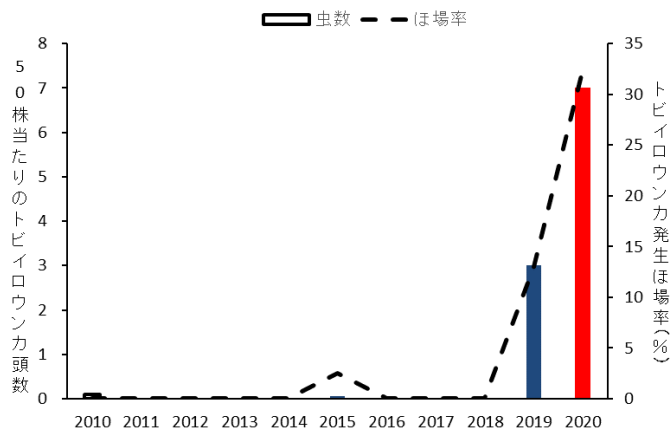


図1 過去10年間のトビイロウンカ捕獲数およびほ場率（7月中旬）



図2 株元のトビイロウンカ成幼虫

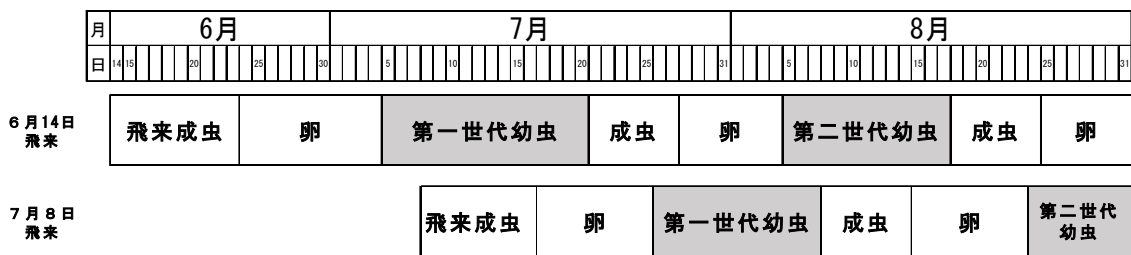


図3 予想されるトビイロウンカの発生予測パターン
 気温（7月15日までは今年の気温、それ以降は過去30年間の平年値）を用いたJPP-NET有効積算温度計算シミュレーションから作成した発生予測パターン。気温はアメダス（出雲）を使用。

島根県病害虫防除所
 （島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫科）
 〒693-0035 出雲市芦渡町2440
 TEL 0853-22-6772
 FAX 0853-24-3342
https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/nougyo_tech/byougaityuu/

○病害虫防除所のホームページでは発生予察情報の他、各種情報を掲載しています。